

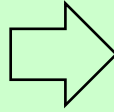
こだわり農産物で高付加価値農業 ～森田 秀昭 氏～

経営体の概要

実施前：平成14年度

基幹作物：水稲、飼料作物、大豆、野菜

経営面積：0.8ha



現在：令和3年度

基幹作物：水稲、飼料作物、大豆、野菜

経営面積：0.8ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

本事業の実施前より、水稲・飼料作物の二毛作、大豆、小豆及び野菜と肉用牛(肥育)を組み合わせた複合経営を継続している。本事業により頭首工や用水路が改修され、安定的な用水供給が図られ、用水不足の不安がなくなったことから、経営規模や品目構成に大きな変化はないものの、有機栽培やはざかけ(天日干し)米など環境保全や品質にこだわった高付加価値生産を実践している。

営農改善のポイント

①栽培技術の向上

水稲、大豆、小豆、野菜類(根深ねぎ、さといも等)は、いずれも有機農法で栽培しており、生産した作物は、奈良県等が主催する農林産物品評会に毎年出品し、近年は、県知事賞(R2)、大神神社宮司豊年講長賞(R3)を受賞するなど高い評価を得ている。



【表彰状(R2)】

②流通・販売の工夫

水稲については、無農薬、無化学肥料での栽培に加え、天日干しにより乾燥させたはざかけ米として生産しており、通常の単価より2割程度高い価格で取引されている。

現在、JAのみの出荷だが、有機栽培を活かした有利販売を目に見える形にするため、今後は道の駅等の直売所への出荷も検討している。



【水稲はざかけの状況】

③担い手人材の育成

近年では、知人から紹介・依頼を受け、町外からの新規就農希望者に農地の貸付提供(独立時に譲渡)や農業機械の貸付及び栽培や作業に関する技術・知識等を惜しみなく提供するなど、今後の地域の担い手としての人材育成に貢献している。



【野菜類の栽培状況】

事業概要

事業種：国営農業用水再編対策事業

関係市町：奈良市 外8市10町1村

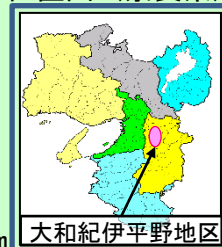
受益面積：6,726ha(地区全体：12,359ha)

事業期間：平成13年～平成29年

事業目的：用水改良

主要工事：ダム改修1箇所、頭首工改修4箇所、
揚水機場改修2箇所、用水路改修L=304km

位置図(奈良県)



<問い合わせ先>

近畿農政局

農村振興部農地整備課

電話：075-451-9161

(内線2565)

(令和3年度調査時点)